

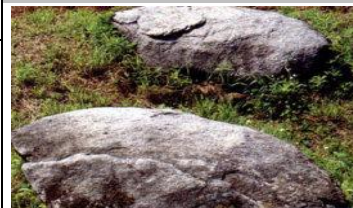
# 葉山尻支石墓群

～国指定史跡～

分野 歴史

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



葉山尻支石墓群

(『唐津市の文化財』より)

## ■葉山尻支石墓群（はやまじりしせきぼぐん）

飯盛山から北に延びる標高約30mの丘陵北端に立地する。縄文時代晩期末から弥生時代中期の支石墓・甕棺墓を主体とする遺跡で、昭和26年発見され、昭和27・28年に県教育委員会が発掘調査を行った。

調査により、支石墓6基・甕棺墓26基・古墳1基が確認されている。

支石墓は、上石がいずれも花崗岩で、6～8個の支石で支える構造である。

甕棺墓には管玉が副葬されていた。

この遺跡は弥生時代墓制と朝鮮半島墓制のつながりを研究する上で重要である。

昭和41年12月19日指定

唐津市半田葉山尻1540-3

埋葬施設

◎引用・参考文献（出典）

◆『佐賀県の文化財』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)